

## スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策について

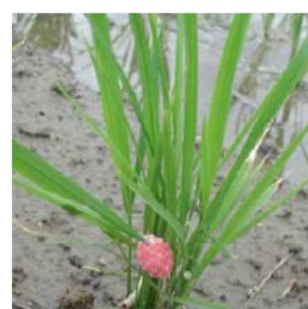
スクミリンゴガイの被害は田植え後約3週間までが大きく、この期間を乗り切ることが被害を抑えるポイントになります。下記を参考に、しっかりと対策を取りましょう。

### 田植え時期の対策

#### ①物理的防除

##### 1)侵入防止

取水口、排水口に侵入防止網(網目は9mm程度)を取り付け、水路からの新たな貝の侵入を防止します。ごみ等がすぐ詰まりますので定期的に、ごみ等を除きましょう。



スクミリンゴガイの卵塊

##### 2)卵塊の圧殺

ピンク色の時は水に落とすだけで駆除できます。ただし、ふ化直前の黒～白っぽい卵は水中でふ化可能なので、圧殺してください。

#### ②耕種的防除(スクミリンゴガイ対策の基本)

水深が浅いと貝の活動が抑制されます。田植え後3週間は水深を4cm以下を維持しましょう。理想は水深1cm以下です。

ただし、除草剤を使用する場合は除草効果を安定させるために水を溜める必要がありますので、除草剤の処理時～4日間は4cm程度水を溜め、下記薬剤も散布しましょう。

#### ③薬剤による防除

田植え時に、下記薬剤を「全面」又は「貝が集まる深水部分」へ散布しましょう。

#### ●スクミリンゴガイに対する薬剤例

| 名称           | 10a当たり<br>使用量 | 使用時期         | 使用方法 | 使用回数 | 備考                                                            |
|--------------|---------------|--------------|------|------|---------------------------------------------------------------|
| ジャンボ<br>たにくん | 1～2kg         | 収穫60日前<br>まで | 散布   | 2回以内 | 毒餌なのでスクミリン<br>ゴガイが食べないと効<br>果がありません。3日<br>程度で水に溶けてなくな<br>ります。 |
| スクミノン        | 1～4kg         | 収穫60日前<br>まで | 散布   | 2回以内 |                                                               |